

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目的	常に新鮮な人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電子工学コースでは、経済産業省による無線技術者養成の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、無線通信技術者及び電子回路設計・制作のできるエンジニアの養成を目的としている。						
		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電子・電気科 電子工学コース オーディオ家電コース		平成22年文部科学 大臣告示第153号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710	1,350	0	840	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		104人		8人	13人	21人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月3日～9月4日 ■冬季:12月23日～1月6日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展覧会、若年者ものづくり競技大会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社NHKアイ・テック、日立コンシューマ・マーケティング株式会社、富士テレビオ株式会社 等 ■就職率※1 90.0 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 74.5 % ■その他 大学編入:東京工科大学、日本大学、神奈川大学、計6名 進学:日本工学院 他 計2名 (平成 26 年度卒業者に關する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	家電製品エンジニア 家電製品アドバイザー デジタル技術検定 ラジオ・音響技能検定 第一・二級陸上無線技術士 第一・二級陸上特殊無線技士 第三級海上特殊無線技士 工事担任者 ほか		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成26年4月1日 在学者 98名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 95名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病氣療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け、個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
菊地 弘光	一般財団法人家電製品協会
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
武田 道朗	一幸電子工業株式会社 部長
茂垣 隆	パナソニックシステムネットワークス株式会社
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長
川村 公二	日本工学院専門学校 電子・電気科 科長
渡邊 和之	日本工学院専門学校 電子・電気科 主任
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長

(開催日時)

第1回 平成27年3月20日 13:30～13:45 14:30～14:45

第2回 平成27年8月4日 10:00～11:00 11:00～11:30

第3回 平成28年3月(開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エレクトロニクス 通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実 際を学びます。	(株)サンライズラボ
電子回路製作実習	増幅回路や発振器、マイコンを応用した回路の設 計・製作を行います。	(株)サンライズラボ
卒業製作	アンテナの設計・製作、マイコンを使用した回路 製作、電子回路の応用製作などのものづくりを行 い、製作した製作品品についての発表を行います。	(株)サンライズラボ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役社長
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)教育事業部 教育推進グループ セクションチーフ
前原 恵子	公益社団法人 全国経理教育協会 作問委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長
高橋 修	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/26_kobetsuhyoka_kmt.pdf

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_kankeisyahyoka_kmt.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_opendeata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電子工学コース・オーディオ家電コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○			○			○	
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○		○	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			テクノロジー基礎2	ものづくり解析などに必要な数学を学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路2	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・後	60	4	○			○		○		

		○	ビデオ技術	画像や映像の記録、伝送の方法について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	オーディオ技術	スピーカやマイクロホン、アンプなどオーディオ機器について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	家電製品技術1	テレビ、地上デジタル、HDD・BDレコーダなど家電製品技術を学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
		○	資格対策講座1	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・前	60	4	○			○		○		
		○	資格対策講座2		1・後	60	4	○			○		○		
○			電子工作実習1	オーディオアンプなど簡単な回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・前	60	2				○	○		○	
○			電子工作実習2	イコライザーアンプなど回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・後	60	2				○	○		○	
○			プログラミング実習	C言語プログラミングを行います。	1・後	60	2				○	○		○	
○			エレクトロニクス基礎実験	デジタル回路、パルス回路、アンプなど電子回路の動作を学びます。	1・後	60	2				○	○		○	
○			テクノロジー実習	部品や簡単な回路の動作を実験を通じ学びます。	1・前	60	2				○	○		○	
○			パソコン実習	WindowsやOffice、インターネット利用上のマナー、エンジニアとしてのPCの利用方法を学びます。	1・前	60	2				○	○			○
		○	インターンシップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1				○		○		○

○		キャリアデザイン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1			○		○	○		
	○	英語2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		電子回路2	発振回路や電源回路、オペアンプを使用した回路など、様々な電子機器の動作について学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
○		マイクロコンピュータ	マイクロコンピュータのしくみや動作を学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
○		光エレクトロニクス	光通信や半導体レーザなどについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
○		通信システム1	携帯電話などにも用いられる通信技術を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		通信システム2	通信技術の応用、実際の通信機器について学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○		計測技術	電子機器の計測方法、計測器の原理などについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
	○	電子回路設計	増幅回路や発振器などの設計方法を学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	電子応用技術	カーナビゲーションシステムなど電波応用技術など様々な電子技術の活用法を学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
	○	オーディオ・ビデオ機器	ホームシアターなど、デジタルAV技術を学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
	○	家電製品技術2	様々な家電製品の技術を学びます。	2・後	60	4	○			○		○		

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工事コースでは、経済産業省による第二種電気工事士および総務省による工事担当者DD第二種の国家試験免除認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、現代の設計や施工分野で活躍するための人材を育成すること。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	工業専門課程		電子・電気科 電気工学コース		平成22年文部科学 大臣告示第153号		-
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,770	1,500	0	600	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		124 人		8 人	13 人	21 人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏季: 8月3日～9月4日 ■冬季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、若年者ものづくり競技大会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ヤマハ発動機株式会社、中部電力株式会社、JFEスチール株式会社、野村不動産パートナーズ株式会社、株式会社三菱地所プロパティマネジメント等 ■就職率 ^{※1} : 97.8 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.9 % ■その他 大学編入:日本大学 2年次編入 計1名 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	第二・三種電気主任技術者 第一・二種ボイラー・タービン主任技術者 第一・二種電気工事士 工事担任者 二級ボイラー技士 第二種冷凍機械責任者 危険物取扱者 消防設備士 ほか		
中途退学の現状	■中途退学者 5 名 ■中退率 4.0 % 平成26年4月1日 在学者 125 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 120 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け、個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
建部 俊久	一般社団法人東京電業協会
泉 達了	株式会社城南サービス チームサプリーダー
菊地 千春	太平ビルサービス株式会社 部長
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長
川村 公二	日本工学院専門学校 電子・電気科 科長
渡邊 和之	日本工学院専門学校 電子・電気科 主任
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長

(開催日時)

第1回 平成27年3月20日 13:30～13:45 14:45～15:00

第2回 平成27年8月4日 13:00～14:00 14:00～14:30

第3回 平成28年3月 (開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する実験を行います。第二種電気主任技術者認定必須科目。電気回路、電磁気の基礎や各種測定器などの電気技術に関する知識を、実験を通じて検証します。	(株)城南サービス
電気応用実験1	モーターや送電システム、照明機器などについて実験します。	(有)カド照明設計研究所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役社長
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部 教育推進グループ セクションチーフ
前原 恵子	公益社団 全国経理教育協会 作問委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長
高橋 修	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/26_kobetsuhyoka_kmt.pdf

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_kankeisyahyoka_kmt.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_opendeata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電気工学コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○		○	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路2	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電磁気1	電界や磁界などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電磁気2	電磁誘導、インダクタンス、電磁波について学びます。	1・後	60	4	○			○		○		

○		電磁気測定 1	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの基礎を学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○		電磁気測定 2	単位や電圧計・電流計など各種測定器、測定法などの応用を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○		電気機器 1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○		モーターテクノロジー	モーターの動作原理や種類などの基礎技術から最新技術までを学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		シーケンス入門	信号機などに利用されている自動制御の基礎知識を学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○		デジタル回路 1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
	○	資格対策講座 1	第二種電気工事士、2級ボイラー技士など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
	○	資格対策講座 2	危険物取扱者など現場で役立つ実用資格を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		テクノロジー実習	電子・電気系の基礎技術に関する実験を行います。	1・前	60	2			○	○			○	
○		基礎実験	電気回路の基礎や各種測定器などの電気技術に関する実験を行います。	1・後	60	2			○	○			○	○
○		電気実習 1	屋内電気配線などの実習を行います。	1・後	60	2			○	○			○	
	○	インターンシップ 1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1			○		○		○	

○		キャリアデザイン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1			○		○	○		
	○	英語2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		発電電技術	水力発電や火力発電、新エネルギーまでを学びます。	2・前	60	4	○			○			○	
○		電気機器2	モーターなどのパワーエレクトロニクスについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		電気法規	電気設備技術基準や電気事業法など電気に関する法律を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		電気施設管理	電気設備を管理する上で必要な電力供給などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		シーケンス応用	自動制御装置の設計法などについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○		電気材料	絶縁材料や導電材料などについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
○		送配電テクノロジー	電気が送られる送電や配電などについて学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
○		通信システム1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、光ファイバなどについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○		通信システム2	データ通信システムやオンライン処理、ネットワーク技術などについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	照明デザイン	暮らしに必要な照明について、光源や照明の設計などについて学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
	○	鉄道技術	鉄道技術として、電車の仕組みや運行システムなどについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○		

		○	高圧電気技術	放電現象や落雷など高圧電気を安全に扱う技術について学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	電気機器設計	電気機器である変圧器やモーターなどについて、その設計法を学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	電気設備	受電設備や空調システムなどを学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	電気応用	電池や蓄電池などについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
		○	資格対策講座3	冷凍機械責任者など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
		○	資格対策講座4	消防設備士など現場で役立つ実用資格を学びます。	2・後	30	2	○			○		○		
○			電気実習2	屋内電気配線などの実習を行います。	2・前	60	2				○	○			○
○			電気応用実験1	モーターや送電システム、照明機器などについて実験します。	2・前	60	2				○	○			○ ○
○			電気応用実験2	発電機や自動制御システムなどについて実験します。	2・後	120	4				○	○			○
○			電気製図	電気機器や配線図などを製図します。	2・後	60	2				○	○			○
		○	インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1				○		○		○
合計				48 科目	2,100 時間 (120 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1,560時間(88単位)、選択科目210時間(14単位)以上を取得し、合計1,770時間(102単位)以上を取得すること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日		千葉 茂		〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目的	常に新鮮な人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身につけ、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電気工事コースでは、経済産業省による第二種電気工事士および総務省による工事担当者DD第二種の国家試験免除認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、現代の設計や施工分野で活躍するための人材を育成すること。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	工業専門課程		電子・電気科 電気工事コース		平成22年文部科学省告示153号		-
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,070	1,380	0	900	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		93 人の内数		8 人	13 人	21 人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏季: 8月3日～9月4日 ■冬季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、若年者ものづくり競技大会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社ユアテック、株式会社関電工、六興電気株式会社、旭日電気工業株式会社 等 ■就職率 ※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ※2 : 98.1 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	第一・二種電気工事士 工事担任者DD二種 2級電気工事施工管理技術検定 乙種7類消防設備士 甲種4類消防設備士 高圧・低圧電気取扱特別教育 消防設備士 ほか		
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 1.9 % 平成26年4月1日 在学者 102 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 100 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査してカリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
建部 俊久	一般社団法人東京電業協会
清水 誠一	株式会社協同技術センター 課長
尾沼 亨	株式会社京王設備サービス 課長
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長
川村 公二	日本工学院専門学校 電子・電気科 科長
渡邊 和之	日本工学院専門学校 電子・電気科 主任
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長

(開催日時)

第1回 平成27年3月20日 13:30～13:45 15:00～15:15

第2回 平成27年8月4日 13:00～14:00 15:00～15:30

第3回 平成28年3月(開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気工事実習1	基本的な工具の使用方法・電線の扱い方・加工方法。ケーブル配線工事・リモコン配線工事を第二種電気工事士の資格要件に即した内容で実習。	有限会社常盤電設
電気工事実習2	基本的な工具の使用方法・電線の扱い方・加工方法。金属製配管工事・合成樹脂配管工事を第二種電気工事士の資格要件に即した、実践的な内容での実習。	有限会社常盤電設
テクノロジー実習	電気・電子で使用する工具の基本的な使用方法。電線類の扱い方や加工方法。基本的な電線の接続方法を学ぶ。	岡田電気安全コンサルタント事務所
電気工事実習3	応用実習を中心に実践に即した内容をグループ単位で行う実習・実験	若島電気商会
電気工事実習4	応用実習を中心に実践に即した内容をグループ単位で行う実習・実験	岡田電気安全コンサルタント事務所
第一種電気工事士実技	第一種電気工事士実技試験合格に向けた実習	岡田電気安全コンサルタント事務所
屋内電気配線CAD	CADソフトを使用し、屋内電気設備の設計・配線図・容量計算を行い、配線図を基にした積算演算を行う実習	若島電気商会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役社長
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会)教育事業部 教育推進グループ セクションチーフ
前原 恵子	公益社団 全国経理教育協会 作問委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長
高橋 修	学校法人上野塾 東京実業高等学校 キャリアセンター長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:

:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/26_kobetsuhyoka_kmt.pdf

http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_kankeisyahyoka_kmt.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.neec.ac.jp/common/pdf/announcement/8964/27_opendeata_kmt.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 電子・電気科 電気工事コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○		○	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			サイエンス	サイエンスの知識としての物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気施工方法1	電気配線の施工方法の基礎知識を学びます。	1・前	60	4	○			○			○	
○			電気機器1	電気機器の仕組みや動作原理、構造などについて学びます。	1・前	60	4	○			○			○	
○			電気工事材料・工具	電気工事における材料や器具、工具について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		

○		配電理論・配線設計	電気が家庭などに供給されるまでの仕組みや配線の設計などを学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○		電気施工方法2	電気配線の施工方法の応用知識を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○		電気法令	電気工事法や電気工事関係法令などを学習します。	1・後	60	4	○			○			○	
○		電気工事検査法	電気配線方法や電気工作物の検査の方法などについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○		デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○		屋内電気配線図	配線図記号から各種工事方法による設計について学びます。	1・後	60	4	○			○			○	
○		テクノロジー実習	電子・電気に関する基礎技術を実習を通して学びます。	1・前	60	2	○			○		△	○	○
○		電気工事实習1	電気工事士として必要な各種配線工事の基礎について実習します。	1・前	210	7			○	○		△	○	○
○		電気工事实習2	電気工事士として必要な各種配線工事の応用について実習します。	1・後	300	10			○	○		△	○	○
	○	インターンシップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1			○		○		○	

○		キャリアデザイン2	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
	○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1			○		○	○		
	○	英語2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		通信システム1	電気通信の基礎から通信品質や変調方式、光ファイバなどについて学びます。	2・前	30	2	○			○		○		
○		通信システム2	伝送理論の基礎から電気通信回線の構成や電気通信技術などについて学びます。	2・前	30	2	○			○		△	○	
○		高圧電気技術1	自家用電気工作物の受電設備などについて学びます。	2・前	90	6	○			○			○	
○		高圧電気技術2	自家用電気工作物の電気設備全般などについて学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
	○	施工管理技術	電気工事施工計画の作成や安全管理などについて学びます。	2・後	60	4	○			○		△	○	
	○	積算	電気配線の設計・積算から見積書の発行などについて学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
○		I P 基礎	インターネットで使われているIP技術の基礎を学びます。	2・後	30	2	○			○		○	△	
○		セキュリティ基礎	ウイルス対策など、パソコンを安全に利用するために必要なセキュリティ技術を学びます。	2・後	30	2	○			○		○	△	
○		ネットワーク基礎	LAN配線などのネットワーク技術の基礎を学びます。	2・後	30	2	○			○		○	△	
○		ネットワーク接続	LAN配線や通信ネットワーク接続技術などについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○	△	
○		通信法規	電気通信事業法などの法令について学びます。	2・後	60	4	○			○		○	△	

○	資格対策講座1	第一種電気工事士などの国家試験対策講座を実施します。	2・前	30	2	○			○		○	
○	資格対策講座2	電気・通信などの国家試験対策講座を実施します。	2・後	30	2	○			○		○	
○	ネットワーク実習	LAN配線やネットワーク設備に関する実習を行ないます。	2・後	30	1			○	○		○	
○	第一種電気工事士実技	第一種電気工事士に必要な電気配線工事に関する技術を実習します。	2・後	60	2			○	○		○	○
○	電気工事実習3	光接続技術や電気配線工事などについて実習します。	2・前	60	2			○	○		○	△
○	電気工事実習4	電気通信配線工事などについて実習します。	2・前	60	2			○	○		○	△
○	屋内電気配線CAD	屋内電気配線を中心に情報ネットワーク配線についてCADソフトを利用して実習します。	2・後	60	2			○	○		○	○
○	インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1			○		○	○	
合計		43科目	2,280単位時間(120単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業時に必修科目1,860時間(98単位)、選択科目210時間(12単位)以上を取得し、合計2,070時間(110単位)以上を取得すること。	1 学年の学期区分
	2 期
	1 学期の授業期間
	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。